墨 田 区（報道）

ひと、つながる。墨田区

墨田区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和６年８月28日　佐藤

～ 新たな「すみだの顔」に！区の魅力や情報を区内外に向けて発信します！ ～

「第 23 代すみだ親善大使」を決定

区は、「第 23 代 すみだ親善大使」として、小菅 亜友美さん（こすげ あゆみ／会社員）、難波 乃泳莉さん（なんば のえり／学生）、定谷 朋佳さん（じょうや ともか／ダンス講師）の３名を選出しました。

区では、地域振興とイメージアップを図り、若い世代の地域への関心を高めることをめざし、平成 12 年度から「すみだ親善大使」を選定しており、これまで総勢 66 名が活躍してきました。

10 月５日（土）12 時 30 分より、ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）メインアリーナで開催される「第 49 回すみだまつり・第 54 回こどもまつり」のオープニングセレモニーで正式に認定されます。また、５日（土）14 時 30 分より、錦糸町 PARCO 前の楽天地ビルステージにてトークショーを行います。その後も、「国技館 5000 人の第九コンサート」や「隅田川花火大会」など、さまざまな区の公式行事や区内のイベントに参加し、区長らとともに区を盛り上げます。

昨日、新たに親善大使に選ばれた３名は区役所を訪れ、今後の活動内容やスケジュールなどの説明を受けた後、親善大使としての心構えについてレクチャーを受けたのち、隅田公園に移動し、プロフィール写真や動画の撮影などを行いました。

犬の散歩や筋トレが趣味だという小菅さんは「気さくで思いやり溢れる地域の方々と関わり、「すみだ」の魅力を多くの方に伝えて、故郷に恩返しをしていきたいです。」、スポーツや料理が趣味だという難波さんは、「自分の故郷を大切に思う気持ちを大事に、親善大使という貴重な経験を通して「すみだ」の魅力を PR していきたいです。」、クラシックバレエ教室で講師をされている定谷さんは、「墨田区の魅力について、自分自身で感じたことを、区民の皆様だけでなく、たくさんの方に自分の言葉で発信していきたいです。」と、これからの活動に向けて意気込みます。１年間のすみだ親善大使３名の活動に、ぜひご注目ください。

《写真》第 23 代 すみだ親善大使（左から小菅さん、難波さん、定谷さん）

《概要》すみだ親善大使

すみだまつり実行委員会が、地域の振興とイメージアップを図るとともに、若者の代表として様々な地域行事に参加してもらうことで、若い世代の地域への関心を高めることを目的として、平成 12 年度（2000 年度）に創設。昭和 56 年から実施していた「ミスすみだコンテスト」に代えて、対象を未婚女性だけでなく、男性を含む若年層全般に拡充している。

今回のすみだ親善大使の募集（期間：６月１日～８月２日）には、総数 19 名の応募があった。

※応募要件：墨田区に在住、在勤、在学で、令和６年４月１日現在、18 歳から 34 歳までの方（性別、国籍、既婚・未婚問わず）

《問合せ》地域力支援部 文化芸術振興課　TEL03-5608-6181

※ お問合せは午後５時までにお願いします。（広報広聴担当　TEL 03-5608-6220）